
為替相場展望

2014年2月

 株式会社 日本総合研究所

調査部 マクロ経済研究センター

<http://www.jri.co.jp/report/medium/publication/exchange>

目次

- ◆為替相場概説 p. 1
- ◆ドル円、ユーロ相場の回顧 p. 2
- ◆円安の勢いは復活するのか p. 3
- ◆ユーロの高止まりは続くのか～マネーフローからのアプローチ～ p. 5
- ◆ドル円、ユーロ相場の見通し p. 7
- ◆内外市場データ p. 8

調査部 マクロ経済研究センター

井上 肇 (Tel : 03-6833-0920 Mail : inoue.hajime@jri.co.jp)

◆本資料は、2014年2月5日9:00時点で利用可能な情報をもとに作成しています。

為替相場概説 (2014年2月)

1. ドル円、ユーロ相場の回顧

<1月のドル円相場>

市場予想を下回る米雇用統計を背景に、中旬にかけて一時102円台まで円高ドル安が進行。その後、一旦104円台後半までドルが反発したものの、月末にかけては、新興国市場の混乱等を受けて、リスク回避の動きが強まり、一時101円台まで円高ドル安が進行。

<1月のユーロ円相場>

良好なユーロ圏景気指標等を受けて、ユーロが反発する場面はあったものの、新興国市場の混乱や、ユーロ圏のインフレ率の低下等を受けて、リスク回避の動きが加速し、月末にかけて138円台まで円高ユーロ安が進行。

2. 円安の勢いは復活するのか

昨年秋以降ほぼ一本調子での円安ドル高が進行してきたものの、新年入り以降、円安は失速。円安失速の要因としては、①米国経済に対する過度な楽観の後退、②新興国市場の混乱、を指摘可能。

当面を展望すると、季節要因による米国景気指標の下振れリスクや、新興国市場の混乱が再発するリスクが残るなか、円高に振れやすい地合いが続く見通し。このほか、円高に振れるリスクとしては、①わが国消費増税による景気悪化、②米FRBの市場とのコミュニケーション失敗による米金利急上昇、③日銀の追加緩和期待の後退、等を指摘可能。株価に調整が生じる局面などでは、円高圧力が強まる可能性大。

もっとも、日米の金融政策の方向性の違いが明確化していること、実需面での円高圧力が減退していること等を踏まえれば、円を積極的に買う理由は乏しく、中期的には緩やかな円安基調が続くとの見方は不変。

一方で、これまで円安ドル高の主要なドライバーとなってきた米10年債利回りの上昇(ドル高要因)と株高によるリスク選好度合いの強まり(円安要因)が昨年ほど期待できなくなっていることから、今後、円安の勢いが復活しても、円安進行ペースは鈍化する公算大。

3. ユーロの高止まりは続くのか～マネーフローからのアプローチ～

近年のユーロの対ドル相場は、基調としては欧米の金融政策の方向性の違いを反映しやすい独米2年債利回り格差に見合う水準での推移が持続。もっとも、2012年半ば以降は、金利差に見合う水準からユーロ高方向にかい離する傾向が定着。

金利差のほかにユーロを高止まりさせている要因は、①ユーロ圏の経常黒字増加、②投機筋によるユーロ売りの巻き戻し、③域外投資家によるユーロ資産の買い戻し、④ユーロ圏の銀行による資金の本国回帰、等を指摘可能。

先行きを展望すると、今後も経常黒字によるユーロ下支えが続く見込み。一方、ユーロ圏の銀行が域外に投資していた資金を本国に還流する動きは金融システム安定化につれて一服するとみられるほか、域外投資家によるユーロ資産買い戻しについても、ピークアウトしてくる可能性大。今後、経常黒字を除きユーロ高をもたらしてきた要因が減衰していくとともに、内外金利差に見合うユーロ相場の水準がユーロ安方向にシフトしていけば、ユーロが調整色を強める展開に移行していく公算大。

4. ドル円、ユーロ相場の見通し

<ドル円相場の見通し>

日米の金融政策の方向性の違い明確化やわが国貿易赤字の定着等を背景に、基調としては円安ドル高が続く見込み。もっとも、季節要因による米景気指標の下振れリスクや、新興国市場の混乱再発のリスクが残ること等から、当面は円高に振れやすい地合いが続く見通し。

<ユーロ円相場の見通し>

ユーロ圏の経常黒字拡大やユーロ圏への投資マネーの回帰等を背景に、ユーロは底堅く推移する見通し。もっとも、新興国市場の混乱再発等により、リスク回避の動きが強まる可能性が残るほか、ディスインフレ傾向のもとでのECBの追加金融緩和観測が根強いこと等から、ユーロの大幅な上昇も見込み薄。

月初に円安が失速した後、市場予想を大幅に下回る米雇用統計や新興国市場の混乱等を背景に、リスク回避の動きが強まり、円高が加速。

< 1月のドル円相場 >

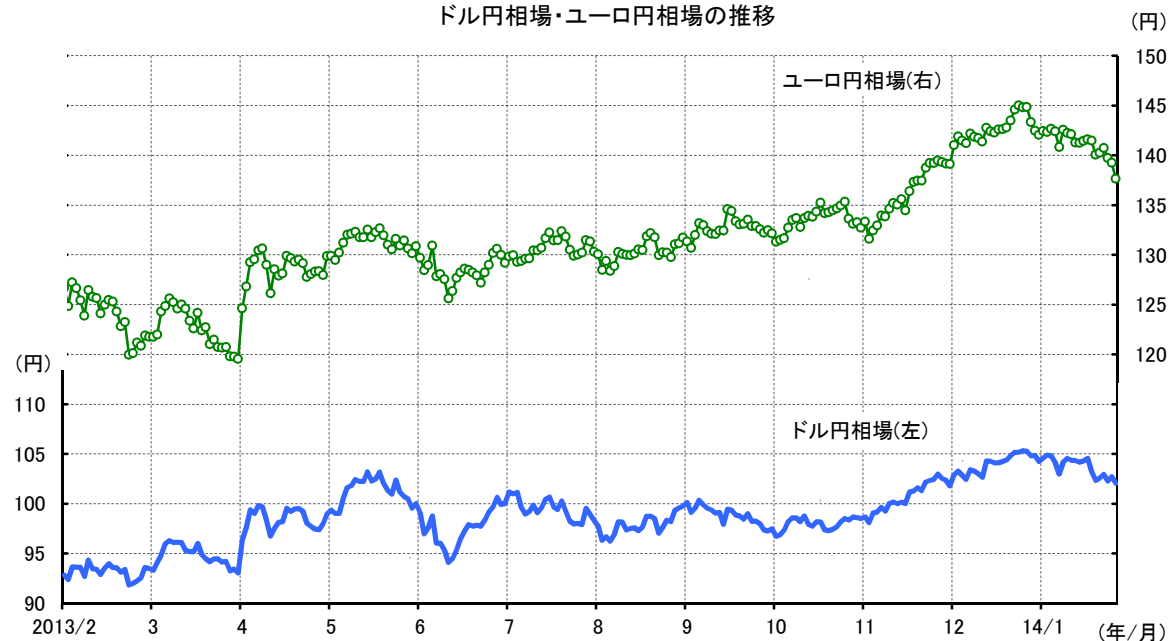
前年末にかけての円安の勢いを引き継ぎ、年初に105円台半ばまで円安が進行。その後も、104円台を中心にドルが底堅く推移していたものの、10日の市場予想を大幅に下回る米雇用統計を受けて、13日にかけて102円台後半までドルが急落。その後、米小売統計など良好な米景気指標を受けて、一旦104円台後半までドルが持ち直したものの、下旬には、中国製造業PMIの悪化やアルゼンチンの通貨急落をきっかけにした新興国市場の混乱等を背景に、リスク回避の動きが強まり、一時101円台後半まで円高ドル安が加速。

< 1月のユーロ相場 >

対ドルでは、年末決算に向けた欧州銀による資金回帰の動きが一服し、月初に1.36ドル割れまでユーロ安が進行。10日の市場予想を大幅に下回る米雇用統計を受けて、一旦1.37ドル近辺までユーロが反発したものの、月半ば以降、米国景気の回復を示す指標が相次ぐなか、FRBが量的緩和縮小を継続するとの見方が強まり、20日にかけて1.35ドル台前半までユーロ安が進行。23日の良好なユーロ圏PMI等を受けて、再び1.37ドル台までユーロが持ち直したものの、①28～29日の米FOMCでの量的緩和縮小の継続決定、②ユーロ圏インフレ率の下振れ、等を受けて、月末には1.35ドル割れまでユーロが下落。

対円では、市場予想を大幅に下回る米雇用統計を受けて、リスク回避の動きが強まり、13日にかけて140円台後半までユーロ安が進行。その後、良好なユーロ圏景気指標等を受けて、一旦143円付近までユーロが持ち直したものの、①中国製造業PMIの悪化やアルゼンチンの通貨急落をきっかけにした新興国市場の混乱、②ユーロ圏インフレ率の下振れ、等を背景に、リスク回避の動きが強まり、月末にかけて137円台まで円高ユーロ安が加速。

ドル円相場・ユーロ円相場の推移



ユーロドル相場の推移



(資料)Bloomberg L.P.

米景気指標の下振れや、新興国市場の混乱再発等により、円高に振れるリスクが残存。株価に調整が生じる局面では、円高圧力が強まる可能性大。

昨年秋以降はほぼ一本調子での円安ドル高が進行してきたものの、新年入り以降、円安は失速。そこで改めて円安失速の要因を整理してみると以下の通り。

(1) 米国経済に対する過度な楽観の後退

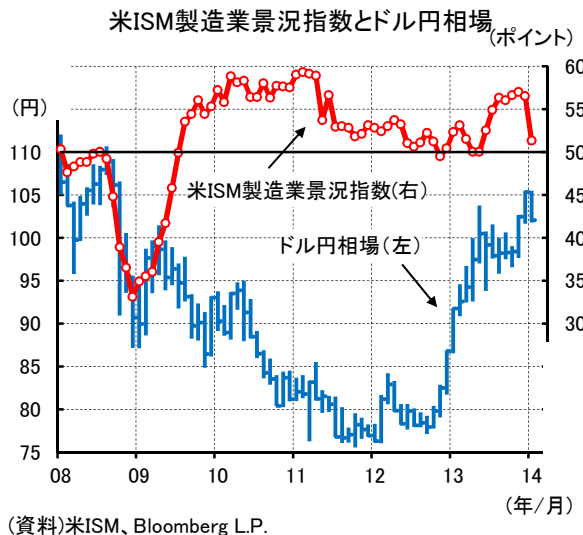
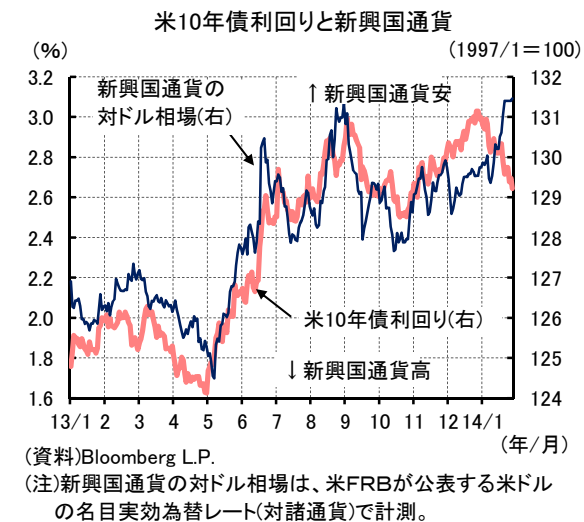
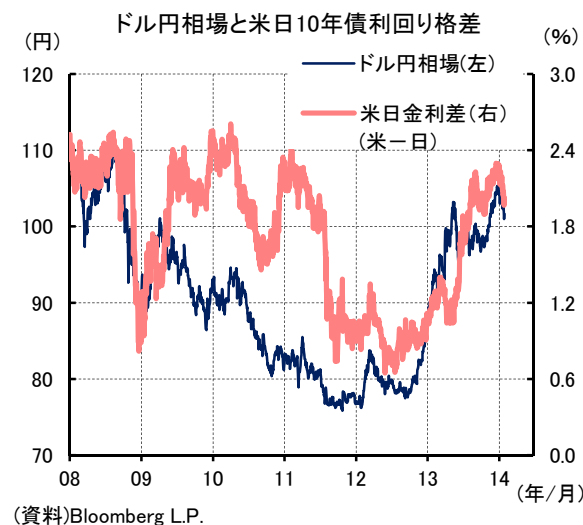
年初から日米の株価に調整が生じつつあったものの、1月10日に発表された米雇用統計が市場予想を大きく下回ったことをきっかけに、米国経済に対する過度な楽観が後退。株安によるリスク回避の動きの強まりや、米国金利の低下に伴う日米金利差の縮小が円高ドル安に作用。

(2) 新興国市場の混乱

中国製造業PMIの悪化やアルゼンチンの通貨急落をきっかけに新興国市場が混乱し、リスク回避の動きが一段と強まったこと。昨年の5～6月や8～9月における新興国通貨の大幅な下落は、米量的緩和縮小観測の高まりにより、米国金利が大幅に上昇するなかで発生。今回も米量的緩和縮小に対する懸念が高まったものの、米国金利が低下するなかで新興国通貨の下落が発生しており、新興国経済に対する先行き不安が強まっていることを示唆。

当面を展望すると、①季節要因(大雪・寒波の影響)による米国景気指標の下振れリスクが残ること、②米国金利の大幅かつ持続的な上昇が回避されたとしても、新興国市場の混乱が再発するリスクが残ること、等から、円高に振れやすい地合いが続く見通し。このほか、円高に振れるリスクとしては、①わが国消費増税による景気悪化、②米FRBの市場とのコミュニケーション失敗による米金利急上昇、③日銀の追加緩和期待の後退、等を指摘可能。

近年のドル円相場は、①日本株との相関が高まっていること、②米国の景況感の影響を受けやすいこと、を踏まえると、日本株の調整が生じる局面や、米国の景況感が悪化する局面では、円高圧力が強まる可能性大。



円を積極的に買う理由は乏しく、基調としては緩やかな円安が続くとの見方は不変ながら、円安進行ペースは鈍化へ。

もっとも、円を積極的に買う理由は乏しく、中期的には緩やかな円安基調が続くとの見方は不変。

(1) 日米金融政策

米FRBが量的緩和縮小を継続する一方、日銀は異次元緩和を継続することが見込まれており、日米のマネタリーベース格差で測られる日米の金融政策の方向性の違いが明確化。

(2) 為替需給

実需面での円高圧力減退が底流で円安トレンドを下支え。わが国の2013年の貿易赤字が約▲11.5兆円と過去最高水準を記録。依然として貿易赤字縮小の兆しはみえておらず、当面は高水準の貿易赤字が続く公算大。

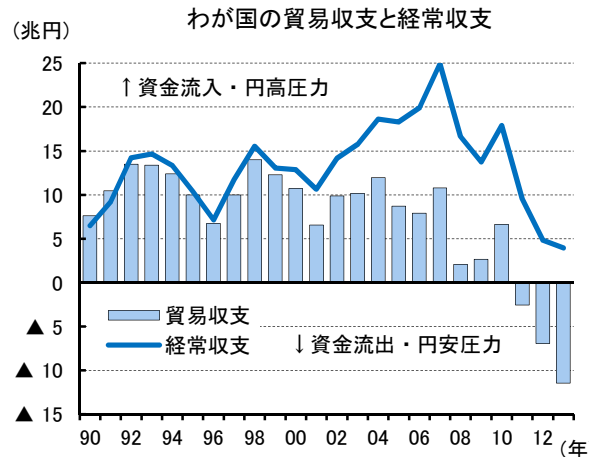
もっとも、今後、円安の勢いが復活しても、円安進行ペースは鈍化する公算大。円安ドル高の主要なドライバーとなってきた米10年債利回りの上昇(ドル高要因)と株高によるリスク選好度合いの強まり(円安要因)が昨年ほど期待できなくなっていることが主因。

(1) 米金利上昇余地

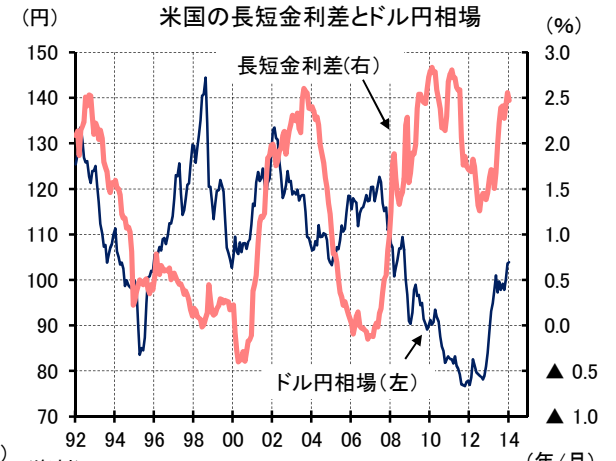
米10年債利回りは、米国景気の回復に沿った緩やかな上昇ペースにとどまる見込み。FRBのフォワード・ガイダンスが機能し続ける限り、当面は、利上げ期待の高まりが抑制される見込み。近年の米国の長短金利差(10年債利回り－2年債利回り)は、2%台後半から3%が概ね上限となっていることを踏まえると、利上げ期待抑制により、2年債利回りが低位で安定する限り、10年債利回りも当面3%を大きく超えて上昇していく公算は小。

(2) 株価上昇余地

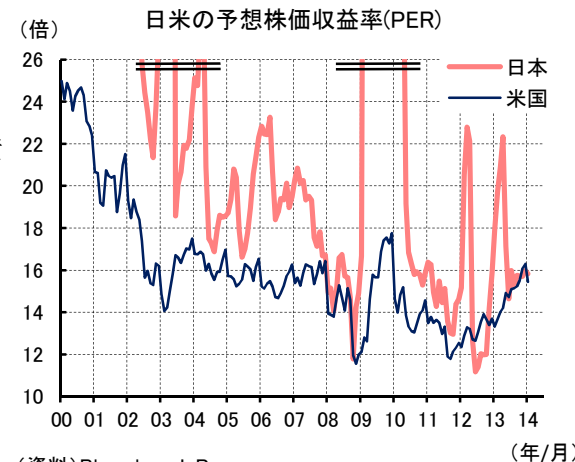
米国株の足許の予想PERをみると、今後、企業収益が大きく改善しない限り、株価が昨年までのような大幅な上昇を続けるのは正当化しづらくなりつつある状況。ドル建て日本株は米国株と高い相関を有していることを踏まえると、日本株の上昇余地も限られてくる可能性。



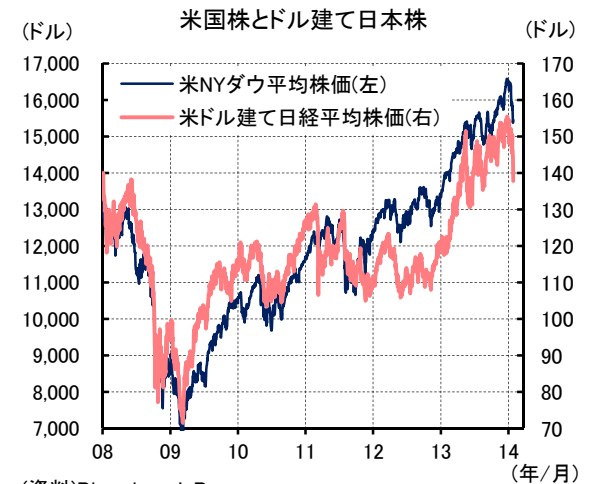
(資料)財務省、日銀
(注)貿易収支は通関ベース。2013年の経常収支は1～11月の累計。



(資料)Bloomberg L.P.
(注)米国の長短金利差は、10年債利回り－2年債利回りである。



(資料)Bloomberg L.P.
(注)日本は、日経平均採用銘柄、米国はS&P500種採用銘柄。



(資料)Bloomberg L.P.

ユーロの対ドル相場は、2012年半ば以降、金利差に見合う水準からユーロ高方向にかい離する傾向が定着。

近年のユーロの対ドル相場は、欧州債務問題の動向によって上下に振らされながらも、基調としては欧米の金融政策の方向性の違いを反映しやすい独米2年債利回り格差に見合う水準での推移が持続。

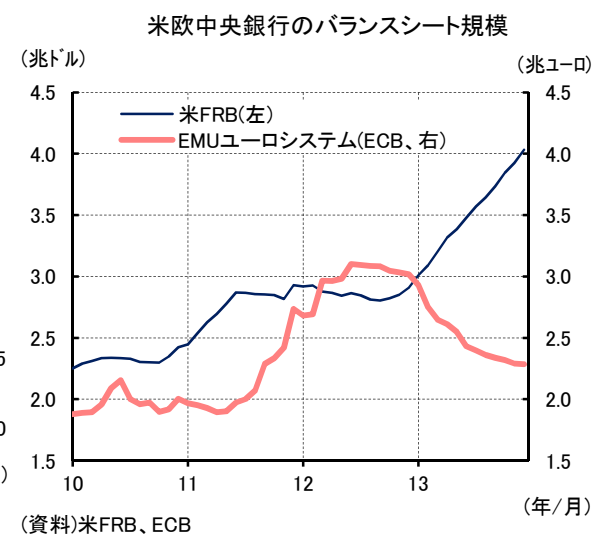
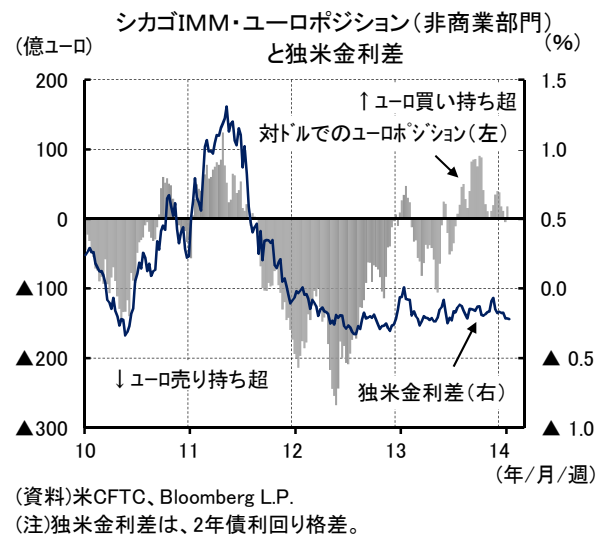
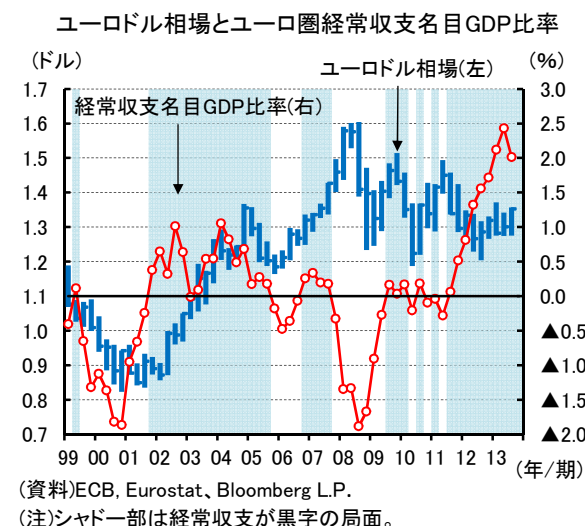
もっとも、2012年半ば以降は、金利差に見合う水準からユーロ高方向にかい離する傾向が定着。金利差のほかにユーロを高止まりさせている要因を整理すると、以下の通り。

(1) ユーロ圏の経常黒字の増加

南欧での景気悪化を受けた輸入減少や域外景気の改善等を受け、経常収支が黒字体質に転換し、その後黒字幅が拡大。過去においても、ユーロ圏の経常収支が黒字で推移する局面では、ユーロが対ドルで堅調に推移する傾向。

(2) 投機筋によるユーロ売りの巻き戻し

投機筋の動向を示す IMM通貨先物取引(非商業部門)の対ドルでのユーロポジションの動向をみると、2011年頃までは金利差とユーロポジションの動きが概ね一致。投機筋は、金利変動を主要な取引動機とし、金利差とユーロ相場の高い相関を支えていた公算大。もっとも、2012年半ば以降、金利差がなくなるなかで、ユーロ売りの巻き戻しとユーロ買いが発生。2012年9月に量的緩和第3弾(QE3)を導入したFRBとユーロ圏銀行からの資金返済が進むECBのバランスシート格差に注目して欧米の金融政策の方向性を測り、ユーロ買いドル売りを進めた可能性。



経常黒字を除くユーロ高をもたらしてきた要因の減衰と、金利差に見合うユーロ水準のユーロ安方向へのシフトにより、ユーロが調整色を強める展開へ。

(3) 域外投資家によるユーロ資産の買い戻し

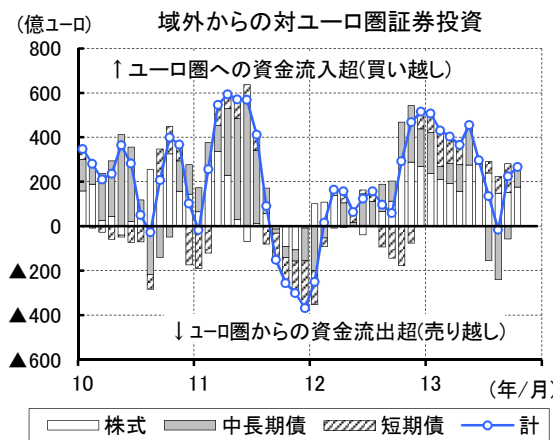
ユーロ圏外からの証券投資は、債務問題が深刻化した2010年から12年前半にかけて売り越される場面が目立ったものの、その後は、中長期債や株式を中心に買い越しに転換。とりわけ、2012年半ば以降は、金利差の変動が直接の取引動機にはなりにくいと考えられる株式投資が持ち直したことが金利差に見合う水準からのユーロの上振れをもたらした公算大。

(4) ユーロ圏の銀行による資金の本国回帰(リパトリ)

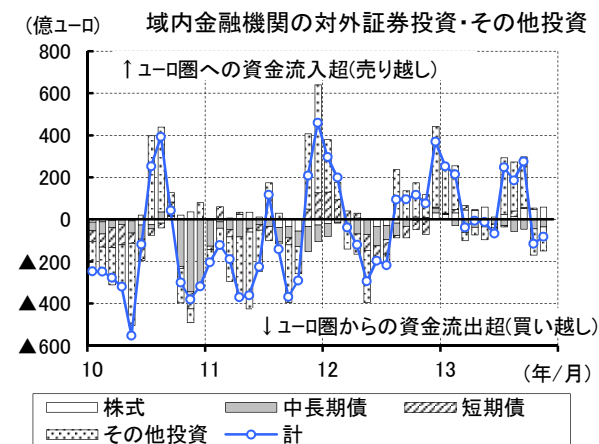
域内金融機関の対外証券投資・その他投資は、2012年半ばから2013年入りにかけてユーロ圏への資金流入超に。その後も、対外投資は盛り上がりを欠いた状態が続いており、ユーロ圏の銀行が資産査定を控えて、投資を手控えている可能性。

先行きを展望すると、今後も経常黒字によるユーロ下支えが続く見込み。一方、ユーロ圏の銀行が域外に投資していた資金を本国に還流する動きは金融システム安定化につれて一服するとみられるほか、域外投資家によるユーロ資産買い戻しについても、ドイツ株の予想PER、独金利、ユーロ圏周辺国債の対独スプレッド等が債務危機が深刻化した2010年前半の水準まで戻るなか、ピークアウトしてくる可能性大。

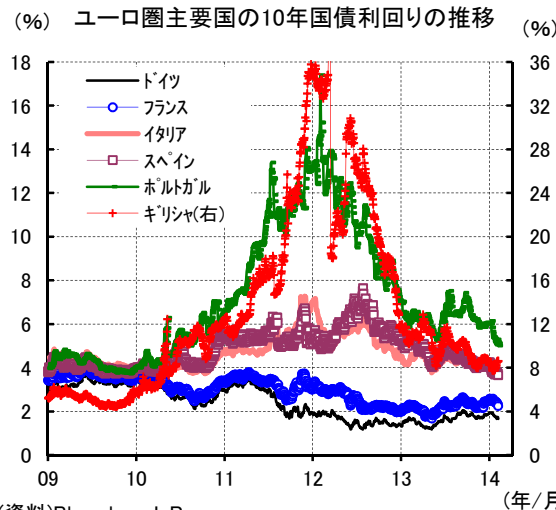
内外金利差の観点では、ユーロ圏のディスインフレ傾向が続くもとのECBの超低金利政策の長期化や、追加金融緩和が見込まれる一方、米国では金融政策が正常化に向かうなかで、独米金利差が拡大し、ドル高基調が強まってくる見込み。今後、経常黒字を除きユーロ高をもたらしてきた要因が減衰していくとともに、内外金利差に見合うユーロ相場水準がユーロ安方向にシフトしていけば、ユーロが調整色を強める展開に移行していく公算大。



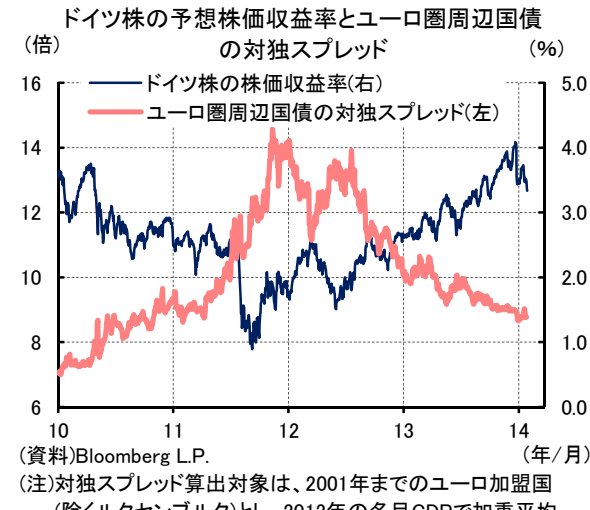
(資料)ECB
(注)いずれも3カ月移動平均値。



(資料)ECB
(注)その他投資には、貸出等が計上される。いずれも3カ月移動平均値。



(資料)Bloomberg L.P.



(資料)Bloomberg L.P.
(注)対独スプレッド算出対象は、2001年までのユーロ加盟国(除くルクセンブルク)とし、2012年の名目GDPで加重平均。

2014年を通してみれば、対ドル、対ユーロで緩やかな円安基調が続くとの見方は不変ながら、当面は円高圧力が強まりやすい地合いが続く見通し。

<ドル円相場の見通し>

足許で昨年秋以降の一本調子の円安進行に対する揺り戻しが生じているものの、①米FRBが金融政策の正常化に向かう一方、日銀に対する追加緩和期待が根強いなど、日米金融政策の方向性の違いが明確化していること、②わが国の貿易赤字定着等により、実需面での円高圧力が減退していること、等を背景に、基調としては緩やかな円安ドル高が続くとの見方は不変。

もっとも、当面は、①季節要因(大雪・寒波の影響)などによる米国景気指標の下振れリスク残存、②新興国市場の混乱再発のリスク、③今春のわが国消費増税による景気悪化、等を踏まえれば、円高圧力が強まりやすい地合いが続く見込み。

<ユーロ相場の見通し>

ユーロ圏の経常黒字拡大やユーロ圏への投資マネー回帰等が需給面でユーロを下支え。もっとも、金融システム不安の緩和とともに、ユーロ圏銀行の資金の本国回帰の動き等がピークアウトしてくれば、ユーロの上値余地も縮小していく公算。

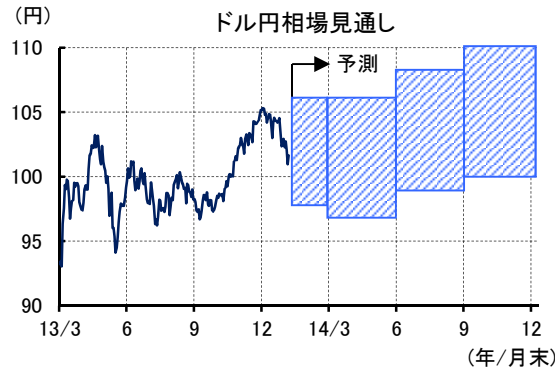
対ドルでは、金融政策の正常化に向かう米FRBと、金融緩和の長期化が見込まれるECBとの金融政策の方向性の違いを反映して、基調としては緩やかなユーロ安が進む展開へ移行していく見通し。

対円では、新興国市場の混乱の再発等により、リスク回避の動きが強まる可能性が残るほか、ディスインフレ傾向のもとでのECBの追加金融緩和観測が根強いこと等から、ユーロの大幅な上昇は見込み薄。

ドル円相場見通し

	2013年		2014年		
	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12
期中平均	100.4	103	103	104	105
(高値)	105.4	106	106	108	110
レンジ	5	5	5	5	5
(安値)	96.6	98	97	99	100

予測



ユーロ円相場見通し

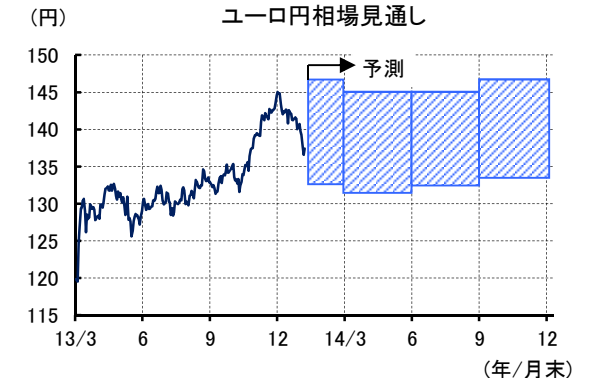
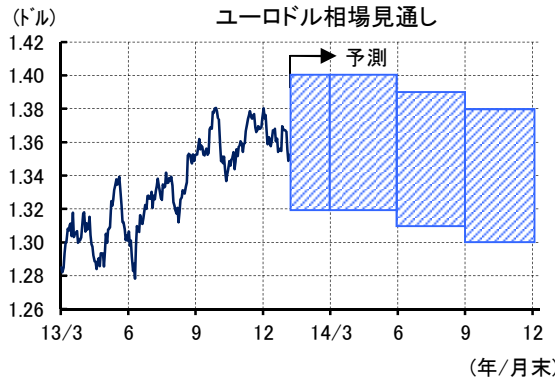
	2013年		2014年		
	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12
期中平均	136.7	140	139	139	140
(高値)	145.7	146	145	145	146
レンジ	5	5	5	5	5
(安値)	131.1	133	132	133	134

予測

ユーロドル相場見通し

	2014年				
	1~3	4~6	7~9	10~12	12
期中平均	1.36	1.36	1.35	1.34	1.33
(高値)	1.39	1.40	1.40	1.39	1.38
レンジ	5	5	5	5	5
(安値)	1.33	1.32	1.30	1.29	1.28

予測



内外市場データ（月中平均）

	為替相場			国内市場				米国市場					欧州市場					商品市況	
	¥/\$ (NY終値)	¥/€ (NY終値)	\$/€ (NY終値)	無担0/N (%)	TIBOR 3ヵ月 (%)	国債 10年物 (%)	日経平均 株価 (円)	FF 0/N (%)	LIBOR 3ヵ月 (%)	国債 10年物 (%)	NYダウ 工業株 (ドル)	S&P500	EONIA (%)	EURIBOR 3ヵ月 (%)	独国債 10年物 (%)	英国債 10年物 (%)	ユーロ・ ストックス50	WTI 原油先物 (\$/B)	COMEX 金先物 (\$/TO)
11/2	82.57	112.80	1.3662	0.0934	0.34	1.28	10622.27	0.16	0.31	3.56	12190.00	1321.12	0.71	1.09	3.23	3.77	3015.73	89.74	1375.12
11/3	81.64	114.45	1.4019	0.0846	0.34	1.25	9852.45	0.14	0.31	3.40	12081.48	1304.49	0.66	1.18	3.25	3.60	2890.36	102.98	1422.91
11/4	83.17	120.35	1.4473	0.0623	0.33	1.27	9644.62	0.10	0.28	3.43	12434.88	1331.51	0.97	1.32	3.35	3.63	2947.16	110.04	1485.41
11/5	81.15	116.24	1.4326	0.0693	0.33	1.14	9650.78	0.09	0.26	3.15	12579.99	1338.31	1.03	1.43	3.11	3.36	2885.77	101.36	1512.55
11/6	80.47	115.89	1.4401	0.0685	0.33	1.13	9541.53	0.09	0.25	2.99	12097.31	1287.29	1.12	1.49	2.97	3.25	2766.61	96.29	1528.62
11/7	79.27	113.30	1.4293	0.0731	0.33	1.11	9996.68	0.07	0.25	2.98	12512.33	1325.18	1.01	1.60	2.79	3.13	2743.46	97.34	1574.62
11/8	77.05	110.46	1.4339	0.0806	0.33	1.02	9072.94	0.10	0.29	2.29	11326.62	1185.31	0.91	1.55	2.25	2.55	2297.21	86.34	1763.99
11/9	76.86	105.70	1.3752	0.0801	0.33	1.00	8695.42	0.08	0.35	1.96	11175.45	1173.88	1.01	1.54	1.87	2.41	2124.31	85.61	1771.92
11/10	76.68	105.26	1.3728	0.0814	0.33	1.01	8733.56	0.07	0.41	2.13	11515.93	1207.22	0.96	1.58	2.04	2.50	2312.30	86.43	1671.25
11/11	77.54	105.09	1.3554	0.0768	0.33	0.99	8506.11	0.08	0.48	2.00	11804.33	1226.41	0.79	1.49	1.95	2.24	2239.58	97.16	1739.43
11/12	77.84	102.35	1.3149	0.0778	0.33	1.00	8505.99	0.07	0.56	1.97	12075.68	1243.32	0.63	1.43	1.99	2.11	2283.30	98.58	1638.58
12/1	76.93	99.33	1.2912	0.0805	0.33	0.97	8616.71	0.08	0.57	1.93	12550.89	1300.58	0.38	1.22	1.86	2.04	2382.07	100.32	1657.22
12/2	78.60	104.06	1.3237	0.0849	0.33	0.96	9242.33	0.10	0.50	1.96	12889.05	1352.49	0.37	1.05	1.90	2.13	2508.24	102.26	1741.61
12/3	82.55	109.07	1.3214	0.0840	0.33	1.00	9962.35	0.13	0.47	2.16	13079.47	1389.24	0.36	0.86	1.88	2.25	2532.18	106.20	1676.67
12/4	81.27	106.99	1.3164	0.0745	0.33	0.95	9627.42	0.14	0.47	2.03	13030.75	1386.43	0.35	0.74	1.73	2.12	2340.78	103.35	1649.74
12/5	79.68	101.90	1.2788	0.0836	0.33	0.85	8842.54	0.16	0.47	1.78	12721.08	1341.27	0.34	0.69	1.46	1.87	2198.50	94.72	1587.68
12/6	79.35	99.57	1.2548	0.0764	0.33	0.84	8638.08	0.16	0.47	1.61	12544.90	1323.48	0.33	0.66	1.43	1.67	2152.74	82.41	1600.53
12/7	78.98	97.09	1.2293	0.0836	0.33	0.77	8760.68	0.16	0.45	1.50	12814.10	1359.78	0.18	0.50	1.31	1.55	2258.36	87.93	1593.68
12/8	78.68	97.59	1.2404	0.0863	0.33	0.80	8949.88	0.13	0.43	1.67	13134.90	1403.44	0.11	0.33	1.42	1.57	2424.50	94.16	1630.27
12/9	78.16	100.62	1.2874	0.0848	0.33	0.80	8948.59	0.14	0.39	1.70	13418.50	1443.42	0.10	0.25	1.55	1.77	2530.69	94.56	1745.83
12/10	79.01	102.47	1.2970	0.0849	0.33	0.77	8827.39	0.16	0.33	1.72	13380.65	1437.82	0.09	0.21	1.52	1.80	2503.47	89.57	1744.43
12/11	81.05	104.07	1.2838	0.0856	0.32	0.74	9059.86	0.16	0.31	1.65	12896.44	1394.51	0.08	0.19	1.39	1.79	2513.98	86.73	1722.91
12/12	83.91	110.16	1.3127	0.0822	0.32	0.74	9814.38	0.16	0.31	1.71	13144.18	1422.29	0.07	0.19	1.36	1.85	2625.55	88.25	1683.45
13/1	89.10	118.53	1.3302	0.0828	0.30	0.77	10750.85	0.14	0.30	1.88	13615.32	1480.40	0.07	0.21	1.56	2.04	2715.30	94.83	1671.17
13/2	93.13	124.24	1.3339	0.0866	0.28	0.74	11336.44	0.15	0.29	1.97	13967.33	1512.31	0.07	0.22	1.60	2.11	2630.40	95.32	1626.95
13/3	94.87	122.92	1.2957	0.0780	0.25	0.60	12244.03	0.14	0.28	1.94	14418.26	1550.83	0.07	0.21	1.41	1.89	2680.18	92.96	1593.62
13/4	97.75	127.35	1.3025	0.0721	0.24	0.57	13224.06	0.15	0.28	1.73	14675.91	1570.70	0.08	0.21	1.25	1.71	2636.35	92.07	1485.09
13/5	100.99	131.05	1.2978	0.0734	0.23	0.78	14532.41	0.11	0.27	1.92	15172.18	1639.84	0.08	0.20	1.37	1.86	2785.77	94.80	1416.61
13/6	97.29	128.40	1.3200	0.0743	0.23	0.85	13106.62	0.09	0.27	2.29	15035.75	1618.77	0.09	0.21	1.62	2.21	2655.76	95.80	1342.47
13/7	99.64	130.47	1.3095	0.0734	0.23	0.83	14317.54	0.09	0.27	2.56	15390.21	1668.68	0.09	0.22	1.63	2.36	2686.53	104.70	1288.07
13/8	97.80	130.25	1.3319	0.0735	0.23	0.75	13726.66	0.08	0.26	2.73	15195.35	1670.09	0.08	0.23	1.80	2.61	2803.85	106.54	1353.68
13/9	99.19	132.53	1.3362	0.0715	0.23	0.72	14372.12	0.08	0.25	2.80	15269.84	1687.17	0.08	0.22	1.93	2.89	2864.56	106.24	1350.93
13/10	97.83	133.43	1.3639	0.0700	0.22	0.63	14329.02	0.09	0.24	2.60	15289.29	1720.03	0.09	0.23	1.81	2.69	2988.88	100.55	1315.91
13/11	100.11	135.13	1.3497	0.0733	0.22	0.61	14931.74	0.08	0.24	2.71	15870.83	1783.54	0.10	0.22	1.72	2.74	3055.98	93.93	1275.16
13/12	103.60	141.96	1.3703	0.0737	0.22	0.67	15655.23	0.09	0.24	2.89	16095.77	1807.78	0.17	0.27	1.85	2.93	3010.20	97.89	1221.66
14/1	103.88	141.51	1.3623	0.0726	0.22	0.66	15578.28	0.07	0.24	2.85	16243.72	1822.36	0.20	0.29	1.80	2.87	3092.40	94.86	1243.85